

第 19 回 ジュニアかなざわオンライン検定 解答と解説（小学生版）

問題 1

工芸とデザイン作品を専門（せんもん）にあつかう美術館（びじゅつかん）が 2020 年（令和 2）に、日本海側初の国立美術館として、東京から移転（いてん）しました。この美術館を何というのでしょうか。

- 1 国立工芸館（こくりつこうげいかん）
- 2 石川県立美術館
- 3 鈴木大拙館（すずきだいせつかん）
- 4 中村記念美術館

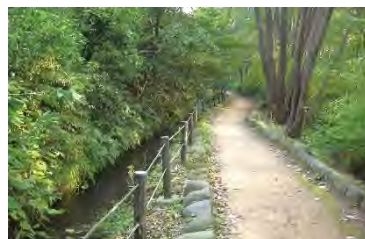


国立工芸館〔当時の東京国立近代美術館工芸館〕の移転は、金沢をふくめた石川県の工芸分野において、歴史的（れきしてき）・文化的蓄積（ちくせき）がひょうかされたからです。

問題 2

小立野台地から、兼六園の園内をながれている用水があります。この用水を何というのでしょうか。

- 1 長坂用水（ながさかようすい）
- 2 大野庄用水（おおのしょうようすい）
- 3 七ヶ用水（しちかようすい）
- 4 辰巳用水（たつみようすい）



辰巳用水は、加賀藩（かがはん）3代藩主（はんしゅ）前田利常（まえだとしつね）が、板屋兵四郎（いたやへいしろう）に命じて作らせました。

問題3

加賀藩（かがはん）の大名行列（だいましょうぎょうれつ）のコースは3つありましたが、ほとんどは江戸時代の北国下街道（ほっこくしもかいどう）を経由（けいゆ）して中山道（なかせんどう）に入る約480kmのコースでした。当時の大名行列では、江戸まで何日かかったでしょうか。

- 1 10 泊 11 日
- 2 11 泊 12 日
- 3 12 泊 13 日
- 4 13 泊 14 日

加賀藩の大名行列は諸大名（しょだいましょう）のなかでも最大の規模（きぼ）で、通常（つうじょう）でも2,000人、5代藩主（はんしゅ）前田綱紀（まえだつなのり）の時には4,000人もの人が金沢城から江戸まで徒歩（とほ）で大移動（だいいどう）しました。

問題4

金沢には、たくさんの方言（ほうげん）があります。その中で「道がこおった様子」をあらわす方言はどれでしょうか。

- 1 ごぼる
- 2 かたがる
- 3 きんかんまなま
- 4 いんぎらあっと

「ごぼる」は雪に足がはまる様子、「かたがる」はかたむく様子、「いんぎらあっと」はゆったりとした様子をあらわしています。

問題5

金沢市立の図書館は、その特色（とくしょく）を生かした読書普及活動（どくしょふきゅうかつどう）や、地域の人々との交流を行うことにより、ひらかれた学びの場として多くの市民に利用されています。2022 年（令和 4）にリニューアルされた、中央小学校の隣（となり）に建てられた図書館は何というのでしょうか。

- 1 金沢海みらい図書館
- 2 玉川こども図書館
- 3 泉野（いずみの）図書館
- 4 玉川図書館



金沢市立図書館は、上の 4 館にくわえ、玉川図書館に城北分館（じょうほくぶんかん）があります。玉川図書館には、金沢の歴史をたどる古文書（こもんじょ）をあつめて保存（ほぞん）する近世史料館（きんせいしりょうかん）が附属（ふぞく）し、市民をはじめ大学などの専門的（せんもんてき）な研究者に活用されています。

問題6

金沢の気候（きこう）は、梅雨（つゆ）の季節（きせつ）や、台風（たいふう）のころ、そして特に冬は降水量（こうすいりょう）が多くなります。このような気候を何というのでしょうか。

- 1 中央高地式気候（ちゅうおうこうちしききこう）
- 2 太平洋側気候（たいへいようがわきこう）
- 3 瀬戸内海式気候（せとないかいしききこう）
- 4 日本海側気候（にほんかいがわきこう）

北陸地方は世界的な豪雪地帯（ごうせつちたい）です。1963 年（昭和 38）には三八豪雪（さんぱちごうせつ）とよばれる大雪がふりました。

問題7

金沢城の石垣（いしがき）にする石の多くは城から8 km ほど東にある戸室山（とむろやま）から切り出された戸室石（とむろいし）でした。城づくりの石を運んだことで付けられた町の名前は何でしょうか。

- 1 金石町（かないわまち）
- 2 石引町（いしびきちょう）
- 3 石浦町（いしうらまち）
- 4 石屋小路（いしやしろうじ）



城づくりの中心になったのは、城づくりにかけては天下にその人ありと知られていた「高山右近（たかやまうこん）」でした。石垣づくりは、当時最高の技術（ぎじゅつ）を持っていた近江（おうみ）の国の穴太村（あのうむら）出身の石工集団（いしくしゅうだん）である穴太衆（あのうしゅう）が担当しました。

問題8

北陸新幹線は、東京～金沢間にくわえ、2024 年（令和6）、金沢～敦賀（つるが）間が延伸（えんしん）しました。この北陸新幹線「かがやき」で東京から敦賀まで移動（いどう）するのにかかる時間は最短（さいたん）でどれくらいでしょうか。

- 1 約（やく）1 時間 10 分
- 2 約2 時間 10 分
- 3 約3 時間 10 分
- 4 約4 時間 10 分

金沢と東京は、江戸（えど）時代の参勤交代（さんきんこうたい）では、約13 日間、北陸新幹線開業前は約4 時間かかっていました。北陸新幹線は、今後、大阪市（おおさかし）まで延伸される予定です。

問題 9

金沢は、加賀藩（かがはん）のころから学問や芸術（げいじゅつ）がたいへんさかんで、明治から後も文化面ですぐれた人物がたくさん出ました。金沢の三文豪（さんぶんごう）とよばれた人物は、徳田秋声（とくだしゅうせい）・室生犀星（むろおさいせい）とだれでしょうか。

- 1 赤羽萬次郎（あかばねまんじろう）
- 2 尾崎紅葉（おざきこうよう）
- 3 高多久兵衛（たかだきゅうべい）
- 4 泉鏡花（いずみきょうか）



泉鏡花は、尾崎紅葉の門下生になり、「義血侠血（ぎけつきょうけつ）」、「照葉狂言（てりはきょうげん）」、「高野聖（こうやひじり）」などの名作を書きました。

問題 10

石川県の県庁所在地（けんちょうしょざいち）は金沢市です。下の地図で金沢市の位置（いち）は、1～4のどこでしょうか。

- 1 珠洲市
- 2 七尾市
- 3 金沢市
- 4 小松市



金沢市の位置は、ほぼ東経（とうけい）136 度、北緯（ほくい）36 度にあります。本州（ほんしゅう）のほぼ中央部に位置し、日本海に面（めん）しています。そのため、古くから日本の諸地域（しょちいき）や日本海の対岸（たいがん）の地域とはさまざまな交流が行われていました。

問題 11

金沢市立小中学校では、2016 年（平成 28）に、子どもたちが金沢への愛着（あいちゃく）と誇り（ほこり）をもつように「金沢ふるさと学習」をはじめるなど、特色（とくしょく）ある教育を行っています。2025 年（令和 7）には、全国的にもめずらしい、新しい時代を生きるための科目をつくりましたが、何という科目でしょうか。

1 デジタル科

2 コミュニケーション科

3 文化科

4 読書科

金沢市では、2025 年（令和 7）からデジタル技術（ぎじゅつ）を専門（せんもん）で学ぶ通常科目（つうじょうかもく）としてデジタル科をつくるなど、子どもたちの創造力（そうぞうりょく）を育てる新たな教育モデルを実践（じっせん）しています。

問題 12

金沢では、さまざまな芸能（げいのう）がうけつがれています。加賀藩（かがはん）5 代藩主（はんしゅ）前田綱紀（まえだつなのり）がとりいれたことから「加賀宝生（かがほうしょう）」として栄（さか）えた芸能は何でしょうか。

1 文楽（ぶんらく）

2 獅子舞（ししまい）

3 能楽（のうがく）

4 歌舞伎（かぶき）



加賀藩では、代々の藩主たちが、積極的（せっきょくてき）に能楽や茶の湯を取り入れました。金沢では能は庶民（しょみん）の楽しみの一つとして広まりました。

問題 13

加賀藩（かがはん）藩主（はんしゅ）の前田利家（まえだとしいえ）は、数々の戦（いくさ）に参陣（さんじん）し、たいへん勇猛（ゆうもう）な武将でしたが、事務能力にもすぐれていました。その利家が、戦以外に得意（とくい）だったのはどんなことでしょうか。

- 1 習字
- 2 計算
- 3 絵
- 4 音楽



きめ細かな計算を行うときに利家がいつも持ち歩いていたのが算盤（そろばん）でした。利家が使ったといわれる「高德公（こうとくこう）算盤」は、現在日本に残っている算盤で、いちばん古いものです。

問題 14

金沢市では、2020 年（令和 2）3 月より自動車による渋滞（じゅうたい）をなくすため、自転車を簡単（かんたん）にかりたり、返したりすることができる公共シェアサイクルを取り入れました。この金沢市の公共シェアサイクルサービスを何というのでしょうか。

- 1 ちょいのり
- 2 たびのり
- 3 シェアのり
- 4 まちのり



自転車利用時のヘルメット着用（ちゃくよう）が全年齢（ぜんねんれい）で努力義務（どりょくぎむ）になったことで、ヘルメットの無料貸出（むりょうかしだし）サービスもはじまりました。

問題 15

織田信長（おだのぶなが）の死後、次男信雄（のぶかつ）をようごする徳川家康（とくがわいえやす）と天下統一を進める羽柴秀吉（はしばひでよし）の間に争いが起こりました。1584 年（天正 12）、家康と手を結んだ越中〔富山県〕の佐々成政（さっさなりまさ）が、秀吉と手を結んだ前田利家の治める城を攻めたことから始まった戦いを何というのでしょうか。

- 1 桶狭間（おけはざま）の戦い
- 2 末森（すえもり）の戦い
- 3 賤ヶ岳（しずがたけ）の戦い
- 4 関ヶ原（せきがはら）の戦い

この末森の戦いは、秀吉の天下統一（てんかとういつ）を進める上で大きな役割を果たし、利家にとっても加賀、能登、越中 3 か国を治めるきっかけになりました。

問題 16

1900 年（明治 33）日本初（はつ）の羽二重（はぶたえ）〔なめらかでつやのあるうすい絹織物（きぬおりもの）〕をおる力織機（りきしょつき）が発明されました。発明した人物は誰でしょうか。

- 1 津田米次郎（つだよねじろう）
- 2 飯尾次郎三郎（いいおじろうさぶろう）
- 3 徳田秋声（とくだしゅうせい）
- 4 赤羽萬次郎（あかばねまんじろう）

1902 年（明治 35）に、大阪（おおさか）で開かれた第 5 回内国勸業大博覧会（ないこくかんぎょうだいはくらんかい）に米次郎の力織機が出品され、大きな賞賛（しょうさん）をはくしました。

問題 17

2011 年（平成 23）海外の旅行雑誌（ざっし）で「世界で最も美しい 14 駅」に選ばれた金沢駅には、伝統芸能（でんとうげいのう）である能で使われる鼓（つづみ）をモチーフにした鼓門（つづみもん）と、ガラスでできたドームがあります。このドームは何と呼ばれているでしょうか。

- 1 かがやきドーム
- 2 もてなしドーム
- 3 いしかわドーム
- 4 かなざわドーム



もてなしドームは、「駅をおりた人に傘（かさ）をさし出すおもてなしの心」を表現しており、3000 枚を超えるガラスを組み立てて作られています。

問題 18

1888 年（明治 21）、石川郡安原村（現在の上安原町）では日本で最初の耕地整理事業（こうちせいりじぎょう）が成しとげられました。まがりくねったさまざまな形の田を縦（たて）横一定の長さに調整し、農道や水路を計画的に配置することで、耕作面積（こうさくめんせき）が増え、農作業の効率（こうりつ）が上がるこの事業をなしとげたのは誰でしょうか。

- 1 高多久兵衛（たかだきゅうべえ）
- 2 二宮尊徳（にのみやそんとく）
- 3 長谷川準也（はせがわじゅんや）
- 4 土屋又三郎（つちやまたさぶろう）

耕地整理と合わせて、手取川（てとりがわ）周辺の用水事業もおこなわれました。久兵衛は、ほ場整備（ほじょうせいび）の祖として、ほめたたえられています。

問題 19

金沢の農業（のうぎょう）は米作りが中心ですが、野菜・花・果物（くだもの）などいろいろな種類（しゅるい）が生産（せいさん）されています。その中でも、昔から金沢で栽培（さいばい）される野菜は「加賀野菜（かがやさい）」とよばれています。加賀野菜は、何種類あるでしょうか。

- 1 5 種類
- 2 10 種類
- 3 15 種類
- 4 20 種類



加賀野菜は、1945 年（昭和 20）以前（いぜん）から栽培され、現在も金沢で栽培されている野菜です。金時草（きんじそう）や加賀太きゅうり、加賀れんこんなどがあります。

問題 20

1672 年（寛文 12）、北国（ほっこく）の米などを京・大坂（おおさか）[今の大阪] に送るルートが変わり、船で日本海から下関（しものせき）と瀬戸内海（せとないかい）を通過（とお）って大坂に運ぶようになりました。その船を何とよんだのでしょうか。

- 1 連絡船（れんらくせん）
- 2 貿易船（ぼうえきせん）
- 3 金沢船
- 4 北前船（きたまえぶね）

それまでの水路（すいろ）と陸路（りくろ）を使うルートでは、大量の馬と荷物のつみかえの手間がかかっていました。ルートの変更により、米のほかに、大坂や瀬戸内地方で酒、紙、たばこ、砂糖（さとう）、塩などをつんで、日本海ぞいに蝦夷（えぞ）地 [今の北海道] まで行き、帰りには、木材やこんぶ、にしんなどをつんで大坂にもどりました。一航海（いちこうかい）で莫大（ばくだい）な利益（りえき）をあげることができました。

問題 21

金沢は、地下水にめぐまれた土地でしたが、大正時代のだいかんばつをきっかけとして上水道の整備（せいび）が進められました。1930 年（昭和 5）に、金沢で最初（さいしょ）につくられた浄水場（じょうすいじょう）はどれでしょうか。

- 1 長坂（ながさか）浄水場
- 2 犀川（さいがわ）浄水場
- 3 浅野川（あさのがわ）浄水場
- 4 末（すえ）浄水場



1931 年（昭和 6）、市民待望（たいぼう）の通水式（つうすいしき）が行われました。しかし、当時、「水は無料（むりょう）のもの、買うものではない」と考える市民が多かったため、給水（きゅうすい）を受ける家庭は、6800 戸にすぎませんでした。

問題 22

1616 年（元和 2）、加賀藩（かがはん）3 代藩主（はんしゅ）前田利常（まえだとしつね）は、城下のあちらこちらに散らばっていた一向宗（いっこうしゅう）以外の寺院（じいん）を 3 つの寺院群（じいんぐん）に集めました。この内、犀川（さいがわ）口に集められた寺院群を何とよぶでしょう。

- 1 卯辰山山麓（うたつやまさんろく）寺院群
- 2 小立野（こだつの）寺院群
- 3 寺町（てらまち）寺院群
- 4 山の寺（やまのてら）寺院群

寺町寺院群には、前田家の墓地（ぼち）がある野田山や大乘寺（だいじょうじ）も含まれます。忍者寺（にんじゃでら）として有名な妙立寺（みょうりゅうじ）、藩主（はんしゅ）も槍（やり）を倒（たお）して通ったといわれる大桜〔国の天然記念物〕がある松月寺（しょうげつじ）など、約 70 の寺院から成り立っています。

問題 23

金沢は雪国として知られ、市民は雪とともに生きてきました。北陸特有（とくゆう）のしめった雪の重みで枝がおれないように木にほどこされるあるものは、金沢の冬の風物詩（ふうぶつし）として、市民や観光客（かんこうきゃく）の目をひきつけます。この風物詩は何とよばれているのでしょうか。

- 1 雪がこい
- 2 雪つり
- 3 枝まもり
- 4 こもがけ



雪つりの美しさは、金沢ならではのものです。雪は、マイナス面ばかりではなく、独特（どくとく）の美しい景観（けいかん）やめぐみも与えてくれることに気づかせてくれます。

問題 24

金沢に電車が走るようになったのは、1914 年（大正 3）のことです。金沢で初めて電車を走らせたのは、どこの電気鉄道会社でしょうか。

- 1 金石（かないわ）電鉄
- 2 石川電鉄
- 3 浅野川電鉄
- 4 能勢（のせ）電鉄

金石電鉄は、金石と長田を結ぶものでした。その翌年（よくねん）、石川電鉄は、鶴来（つるぎ）から野々市間を開業し、また新たに市内に電車を走らせることが計画されるようになりました。

問題 25

江戸時代の初め、後藤太兵衛（ごとうたへえ）が、寺町台地の開墾（かいこん）をはじめて、泉野村や泉野出村、泉野新村を開いたといわれています。土地を開き水田を作るために犀川（さいがわ）の支流の内川から水を引き 1671 年（寛文 11）に完成させた用水は何用水でしょうか。

- 1 辰巳用水（たつみようすい）
- 2 鞍月用水（くらつきようすい）
- 3 セカ用水（しちかようすい）
- 4 長坂用水（ながさかようすい）

粗末（そまつ）な道具しかない時代に、山中にトンネルをほったり、藪（やぶ）を切り開いたりして完成させた長坂用水は、野田山の周辺をぐるっと回るように作られ、寺町台地一帯をうるおし、農業に欠かせないものになっています。

問題 26

金沢には、地名の由来となった芋掘藤五郎（いもほりとうごろう）の伝説が残っており、その中に出てくる兼六園にある泉から金沢の地名が起ったと伝えられています。小立野台地で発見され、昔たくさんとれたものは何でしょう。

- 1 金
- 2 銀
- 3 銅
- 4 鉄



金を発見し採掘（さいくつ）したのは、金屋（かなや）とよばれる鉄や金を求め歩く流浪（るろう）の人々の集団でした。砂金を掘ったところには町ができ、金屋が金沢の町を最初に作った人々であり、最初の住人でした。

問題 27

金沢市の人口は、2025 年（令和 7）現在（げんざい）、約 44 万人です。これは、1889 年（明治 22）に金沢市の市制（しせい）が始まったころと比べて、約何倍以上（いじょう）の人口になっているでしょうか。

- 1 約 4 倍
- 2 約 6 倍
- 3 約 8 倍
- 4 約 10 倍

1889 年（明治 22）頃は、10 万人に満たなかった金沢市の人口は、金沢市の広がりとともにふえていきました。

問題 28

金沢市で一番高い山は、標高（ひょうこう）1644 メートルの奈良岳（ならだけ）です。この山を水源〔かわのはじまり〕とする、金沢で一番長い川の名前は何でしょうか。

- 1 浅野川（あさのがわ）
- 2 犀川（さいがわ）
- 3 倉谷川（くらたにがわ）
- 4 二又川（ふたまたがわ）



奈良岳からの二又川と、大門山（だいもんざん）からの倉谷川は、犀川ダムにあつまり、その後、犀川となって、日常生活（にちじょうせいかつ）につかわれる水道水や、田畑をうるおす農業用水などに利用（りよう）されています。

問題 29

加賀藩（かがはん）3代藩主（はんしゅ）前田利常（まえだとしつね）は、世の中が戦のない時代に移り変わりつつあることを感じ取り、いち早く藩内の産業の振興（しんこう）と文化の発展につくしました。利常が考えた、藩が安定して税（ぜい）を手に入れることができるようになった新しい農政（のうせい）を何というでしょう。

- 1 七木（しちぼく）の制（せい）
- 2 御定書（おさだめがき）
- 3 改作仕法（かいさくしほう）
- 4 町方二日読み（まちかたふつかよみ）

「改作仕法」は、村々の田の良し悪しや広さを調べ、その村の米の取れ高から年貢（ねんぐ）の率を決め、藩（はん）へ納（おさ）める年貢を決めるというものです。ほとんどの村は前よりも高い率となりました。農民がゆとりを持って暮らせるようにしようと考えたのですが、実際（じっさい）には、農民はぜいたくな生活をおくることはできませんでした。

問題 30

「まちにひらかれた公園のような美術館（びじゅつかん）」をコンセプトに設計（せっけい）されたガラスばりの建物は円形で、その形から「まるびい」の愛称（あいしょう）で市民に親しまれています。この美術館の名前は何か。

- 1 金沢 21 世紀美術館
- 2 中村記念美術館
- 3 鈴木大拙館（すずきだいせつかん）
- 4 石川県立美術館



金沢 21 世紀美術館は、毎年、金沢市の小学 4 年生全員を招待（しょうたい）するミュージアム・クルーズを行っています。

問題 31

1488 年（長享2）、富樫政親（とがしまさちか）を、一向宗農民門徒（いっこうしゅうのうみんもんと）を中心とした一揆（いっき）軍が倒し、その後本願寺（ほんがんじ）が加賀（かが）を治めるようになりました。現在の金沢城公園のあたりにあったと思われる施設（しせつ）を何というでしょう。

- 1 金沢御堂（かなざわみどう）
- 2 天徳院（てんとくいん）
- 3 加賀二俣本泉寺（かがふたまたほんせんじ）
- 4 大乘寺（だいじょうじ）

金沢御堂は尾山御坊（おやまごぼう）ともいい、加賀の一向宗（いっこうしゅう）の中心となりました。門徒（もんと）たちはこの寺を「御山（おやま）」といっとうやまい、たくさんの人がお参りにやってきました。

問題 32

金沢市のシンボルである市章（ししょう）は、加賀藩（かがはん）前田家の家紋（かもん）からとったものです。何の花の形でしょうか。

- 1 桜の花
- 2 椿（つばき）の花
- 3 梅の花
- 4 牡丹（ぼたん）の花

前田家ゆかりの梅のもようは、金沢市の市章のほかにも、「ジュニアかなざわ検定（けんてい）」のロゴマークや、消防のまとい、下水道のふたなどにも使われています。

問題 33

日本海側のメインポートとして大型船が入港（にゅうこう）できるように整備（せいび）され、2020 年（令和 2）にクルーズターミナルが開業（かいぎょう）しました。この港はどれでしょうか

- 1 輪島港（わじまこう）
- 2 福浦港（ふくうらこう）
- 3 高浜港（たかはまこう）
- 4 金沢港（かなざわこう）



金沢市の中心をながれる犀川（さいがわ）の河口（かこう）に位置（いち）する金石港と、河北潟から日本海へとつうじる大野川河口の大野港が、1954 年（昭和 29）に合併（がっぺい）して金沢港となりました。

問題 34

江戸時代を代表する学者として有名な新井白石（あらいはくせき）は、「加賀（かが）は天下の書府（しょふ）である」とほめたたえました。学問をさかんにし、有名な学者を日本中から金沢にまねいたり、貴重な書物を国中から集めることに力を入れた加賀藩（かがはん）の藩主（はんしゅ）はだれでしょう。

- 1 前田利家（まえだとしいえ）
- 2 前田利長（まえだとしなが）
- 3 前田綱紀（まえだつなのり）
- 4 前田慶寧（まえだよしやす）

綱紀は、漢学〔中国の学問〕では日本一といわれていた木下順庵（きのしたじゅんあん）や、本草学〔薬草の学問〕の第一人者として知られていた稲生若水（いのうじゃくすい）などを金沢に住まわせて学問を奨励（しょうれい）しました。学者としてもよく知られるようになり、将軍（しょうぐん）や大名の前で学問の話をするこもしばしばあったそうです。

問題 35

金沢には伝統的（でんとうてき）な2つの焼き物があり、今も金沢の人々の生活の中に生きています。このうち、京都の名工、青木木米（あおきもくべい）が卯辰山（うたつやま）のふもとで窯（かま）を開き再興（さいこう）され、明治になると海外に多く輸出（ゆしゅつ）された焼き物は何でしょう。

- 1 加賀焼（かがやき）
- 2 大樋焼（おおひやき）
- 3 九谷焼（くたにやき）
- 4 楽焼（らくやき）



九谷焼の特色は、上絵付け（うわえつけ）のすばらしさにあります。海外に輸出された九谷焼は「ジャパン・クタニ」の名前で世界的に知られるようになりました。

問題 36

金沢市の姉妹都市は7つあります。その中で、最後に姉妹都市になったのはどこでしょうか。

- 1 バッファロー市 [アメリカ合衆国（がっしゅうこく）]
- 2 蘇州市（そしゅうし） [中国]
- 3 イルクーツク市 [ロシア]
- 4 全州市（じょんじゅし） [大韓民国（だいかんみんこく）]

大韓民国の全州市とは、2002年（平成14）に姉妹都市となりました。また、もっとも早く姉妹都市になったのは、アメリカ合衆国のバッファロー市で、1962年（昭和37）のことです。

問題 37

江戸時代、幕府（ばくふ）は、加賀藩（かがはん）が大きな藩であることをおそれて、何度もあらぬうたがいをかけ、とりつぶす機会をうかがっていました。2代藩主（はんしゅ）前田利長（まえだとしなが）に謀反（むほん）のうたがいがかけられたとき、人質として江戸へさしだされたのは誰でしょう。

- 1 芳春院（ほうしゅんいん）
- 2 千姫（せんひめ）
- 3 寿福院（じゅふくいん）
- 4 珠姫（たまひめ）

前田利家の正室（せいしつ）の芳春院［おまつの方］は、江戸中期にかかれた「明良洪範（めいようこうはん）」に賢（かしこ）い婦人の一人として紹介され、前田家の危機に進んで人質になることを申し出たと言われています。

問題 38

2015 年（平成 27）3 月に北陸新幹線（ほくりくしんかんせん）が金沢まで開業し、たくさんの人たちが観光（かんこう）や仕事で金沢をおとずれるようになりました。観光都市金沢をささえるボランティアで、町の観光案内（あんない）をする人たちを何というのでしょうか。

- 1 あんやとさん
- 2 りくつなさん
- 3 おつかれさん
- 4 まいどさん



金沢市は全国的に有名な観光地で、県外や外国からたくさんの観光客がおとずれます。

問題 39

1949 年（昭和 24）、複数（ふくすう）の学校がまとまり、6 つの学部をかかえる総合大学である金沢大学が生まれました。当時、金沢大学のキャンパスの一つとして使用していた場所は、どこでしょうか。

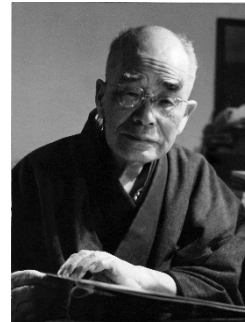
- 1 石川県庁
- 2 金沢城
- 3 金沢駅
- 4 金沢市役所

金沢大学は、「お城（しろ）の中の大学」として全国に有名になりましたが、1989 年（平成元）に、現在の角間（かくま）キャンパスへの総合移転（そうごういてん）を開始（かいし）し、2010 年（平成 22）に完了しました。

問題 40

金沢は、さまざまな分野で活躍（かつやく）する多くの人々を育んできました。仏教を説明する英語の本を出版（しゅっぱん）したり、講演（こうえん）したりして仏教を外国に伝えた人はだれでしょうか。

- 1 鈴木大拙（すずきだいせつ）
- 2 高峰譲吉（たかみねじょうきち）
- 3 磯田謙雄（いそだのりお）
- 4 稲垣義方（いながきよしかた）

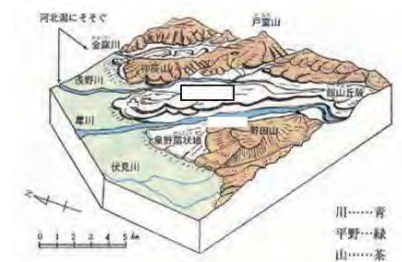


2011 年（平成 23）には、鈴木大拙の考えや足跡（そくせき）を国内外へ発信し、大拙についての理解を深める、鈴木大拙館（すずきだいせつかん）が開設されました。

問題 41

金沢市の地形は、東部には医王（いおう）の山々があり、西部の海岸に向かってしだいなだらかになっています。市の中心部は、犀川（さいがわ）と浅野川（あさのがわ）が流れており、この2つの河川（かせん）の間は細長く台地がのびています。この犀川と浅野川の間を何というのでしょうか。

- 1 寺町台地（てらまちだいち）
- 2 小立野台地（こだつのだいち）
- 3 卯辰山台地（うたつやまだいち）
- 4 月津台地（つきつだいち）



犀川と浅野川は、南東方向から北西方向にほぼ並行（へいこう）して流れています。小立野台地の先端（せんたん）には、金沢城跡（かなざわじょうあと）があります。

問題 42

江戸時代の終わり頃、金沢には「天然痘（てんねんとう）」にかからないための種痘（しゅとう）を加賀藩（かがはん）で最初に行った黒川良安（くろかわまさやす）や、西洋の数学の本を日本語に訳（やく）した関口開（せきぐちひらき）など多くの科学者が出ています。この頃活躍し、「優れたからくり師（し）」といわれ、たくさんのからくりや工芸品を残し、高い水準の知識を身につけた技術者でもあった人物はだれでしょう。

- 1 平賀源内（ひらがげんない）
- 2 大野弁吉（おおのべんきち）
- 3 銭屋五兵衛（ぜにやごへえ）
- 4 石黒信由（いしぐろのぶよし）

「加賀の平賀源内（ひらがげんない）」とも称（しょう）された弁吉の書いた「一東視窮録（いっとうしきゅうろく）」には、エレキテル、写真術など、当時としては最新の知識がまとめられています。

問題 43

1874 年（明治 7）長谷川準也（はせがわじゅんや）が長町（ながまち）の川岸に大きな工場をつくりました。当時としては、全国第 2 位の大きさでした。機械を動かすために、鞍月用水（くらつきようすい）から水を引き、大きな水車が使われました。この工場は何の工場でしょうか。

- 1 ビール
- 2 ガラス
- 3 製鉄（せいてつ）
- 4 製糸（せいし）

当時、全国 1 位の大きさの工場は、世界遺産（せかいいいさん）に認定されている富岡製糸場（とみおかせいしじょう）でした。日本の製糸は、重要（じゅうよう）な輸出品（ゆしゅつひん）だったのです。

問題 44

江戸時代に加賀藩（かがはん）から江戸の将軍（しょうぐん）に氷を献上（けんじょう）したことにちなんだ行事の日に食べると、一年間病気にかからないといわれている食べ物は何でしょう。

- 1 氷室饅頭（ひむろまんじゅう）
- 2 上生菓子（じょうなまがし）
- 3 葛饅頭（くずまんじゅう）
- 4 五色生菓子（ごしきなまがし）



現在でも、氷室の朔日（ついたち）には氷室饅頭が店頭にならびます。

問題 45

織田信長（おだのぶなが）が力を持っていた頃、日本人のキリスト教信者「キリシタン」が増えたことに危険（きけん）を感じた豊臣秀吉（とよとみひでよし）は、キリシタンとなった大名を追放し始めました。追放された後、加賀藩（かがはん）にまねかれ、金沢城のお堀（ほり）や、2代藩主（はんしゅ）前田利長（まえだとしなが）が住んだ高岡城をつくるときなどに活躍（かつやく）した大名はだれでしょうか。

- 1 佐々成政（さっさなりまさ）
- 2 柴田勝家（しばたかついえ）
- 3 佐久間盛政（さくまもりまさ）
- 4 高山右近（たかやまうこん）



高山右近は、もともと摂津高槻（せつたかつき）の大名で、人柄がよいだけでなく築城技術（ちくじょうぎじゅつ）や茶人（ちゃじん）としての才能（さいのう）も豊かな人でした。前田利家（まえだとしいえ）の家来として暮（く）らしましたが、キリスト教禁止令（きんしれい）で、フィリピンのマニラに流されてしまいました。

問題 46

金沢市は、2009 年（平成 21）に国から「歴史都市（れきしとし）」として認定（にんてい）され、まちなみや風景をまもり、後世（こうせい）につたえていくさまざまな取り組みをおこなっています。その一つとして、歴史的な建物に名前をつけて、その活用やそこに住みたい人に情報を提供（ていきょう）しています。この建物の名前は何でしょうか。

- 1 歴史町家（れきしまちや）
- 2 金澤町家（かなざわまちや）
- 3 伝統町家（でんとうまちや）
- 4 保存町家（ほぞんまちや）



金沢は、加賀藩（かがはん）前田家の政治、経済（けいざい）、文化の中心としてさかえた城下町の一つです。400 年以上も戦禍（せんか）にあわず、同時に自然災害の大きな被害（ひがい）をうけなかったことから、現在でも歴史的な建物として良好に残っています。

問題 47

金沢市には、地元をホームタウンとするスポーツ団体があります。その中で、チーム名がドイツ語に由来し、さらに金沢の方言とも関係のあるサッカーチームはどれでしょうか

- 1 金沢学院クラブ
- 2 ツエーゲン金沢
- 3 石川ミリオンスタース
- 4 金沢武士団（サムライズ）



「ツエーゲン金沢」は、ドイツ語の「Zwei（2）」と「Gehen（進む）」を組み合わせた造語で、「チームとサポーターが共に進んでいく」という意味が込められています。また、金沢弁で「強いんだぞ！」を意味する「つえーげん！」ともかけられています。

問題 48

金沢市は、市内のいたるところで沢（さわ）やわき水が見られるほど、昔から水が豊かなまちでした。水がこんもり、もり上がった様子から名づけられた金沢の沢やわき水のことを何とよぶでしょうか。

- 1 ひょっこり
- 2 とっくり
- 3 そっくり
- 4 もっくり

都市化が進んだ今でも、市内の数十カ所にわき水がみられます。

問題 49

1858 年（安政 5）、お米の値段が上がり生活に困った人々 2000 人ほどが卯辰山（うたつやま）の庚申塚（こうしんづか）から金沢城に向かって「ひもじいわいやー」「米くれまいやー」と泣きさげびました。このさげび声が殿様（とのさま）に届いたことで、藩（はん）の米蔵（こめぐら）からお救い米を放出するよう命じられたできごとを、何というでしょう。



- 1 一向一揆（いっこういっき）
- 2 加賀騒動（かがそうどう）
- 3 泣き一揆（なきいっき）
- 4 天保義民（てんぽうぎみん）

人々が殿様にうったえることは禁じられていたので、主（おも）だった 7 人が捕（と）らえられて、処刑（しょけい）されました。町の人たちは、亡（な）くなった 7 人のために、稲（いね）を抱（いだ）いた 7 体のお地藏（じぞう）様を作りました。このお地藏様は「七稲地藏（なないねじぞう）」とよばれるようになり、今も観音町（かんのんまち）の寿経寺（じゅきょうじ）にまつられています。

問題 50

明治（めいじ）の世の中になると街中（まちなか）を走るさまざまな車両（しゃりょう）が登場し、街の様子は一変しました。当時、長田から金石（かないわ）まで行くときに、たくさん利用した乗り物は何でしょう。

- 1 人力車（じんりきしゃ）
- 2 蒸気機関車（じょうききかんしゃ）
- 3 馬車鉄道（ばしゃてつどう）
- 4 自転車（じてんしゃ）

1898 年（明治 31）石川県初の馬車鉄道が上金石～長田間（4.8 km）で営業を開始しました。この他に、松任町（まつとうまち）と三馬村（みんまむら）をむすぶ松金馬車鉄道（しょうきんばしゃてつどう）がありました。

第 19 回ジュニアかなざわオンライン検定解答（小学生版）

問題	解答	問題	解答
1	1	26	1
2	4	27	1
3	3	28	2
4	3	29	3
5	2	30	1
6	4	31	1
7	2	32	3
8	3	33	4
9	4	34	3
10	3	35	3
11	1	36	4
12	3	37	1
13	2	38	4
14	4	39	2
15	2	40	1
16	1	41	2
17	2	42	2
18	1	43	4
19	3	44	1
20	4	45	4
21	4	46	2
22	3	47	2
23	2	48	4
24	1	49	3
25	4	50	3

※当検定の写真、イラストなどを著作権者の許可なしに複写・複製・転載することは、法律で認められた場合を除き、かたくお断りします。

写真提供者一覧（敬称略・順不同）

金沢市、石川県観光連盟、鈴木大拙館、株式会社石川ツエーゲン